

## 4 参考 ブロック別懇談会資料

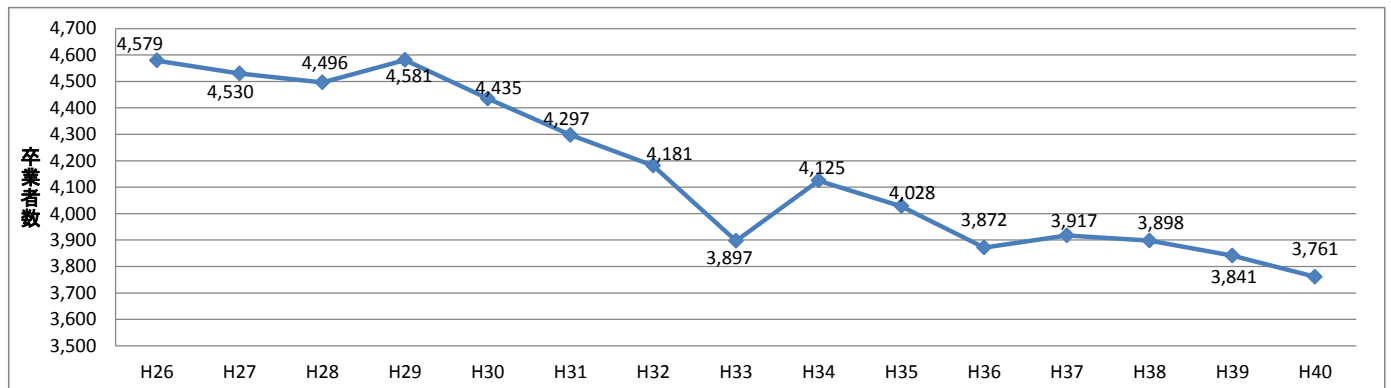
### (1) ブロック別の現状について

[盛岡ブロック]

#### 1 平成26年3月～40年3月 中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
盛岡	4,579	4,530	4,496	4,581	4,435	4,297	4,181	3,897	4,125	4,028	3,872	3,917	3,898	3,841	3,761
ブロック計		-49	-34	85	-146	-138	-116	-284	228	-97	-156	45	-19	-57	-80
盛岡市	2,834	2,741	2,762	2,778	2,753	2,676	2,623	2,414	2,613	2,527	2,458	2,520	2,490	2,519	2,511
		-93	21	16	-25	-77	-53	-209	199	-86	-69	62	-30	29	-8
		-93	-72	-56	-81	-158	-211	-420	-221	-307	-376	-314	-344	-315	-323
雫石町	147	169	151	154	146	131	133	121	125	125	119	120	118	102	96
		22	-18	3	-8	-15	2	-12	4	0	-6	1	-2	-16	-6
		22	4	7	-1	-16	-14	-22	-22	-22	-28	-27	-29	-45	-51
滝沢市	529	538	570	581	585	570	539	501	534	557	531	544	542	512	488
		9	32	11	4	-15	-31	-38	33	23	-26	13	-2	-30	-24
		9	41	52	56	41	10	-28	5	28	2	15	13	-17	-41
紫波町	348	346	353	380	314	318	301	293	299	272	277	261	255	238	228
		-2	7	27	-66	4	-17	-8	6	-27	5	-16	-6	-17	-10
		-2	5	32	-34	-30	-47	-55	-49	-76	-71	-87	-93	-110	-120
矢巾町	299	309	295	307	253	262	259	240	247	241	222	209	211	198	189
		10	-14	12	-54	9	-3	-19	7	-6	-19	-13	2	-13	-9
		10	-4	8	-46	-37	-40	-59	-52	-58	-77	-90	-88	-101	-110
八幡平市	231	265	197	218	212	199	177	183	175	175	150	150	164	163	148
		34	-68	21	-6	-13	-22	6	-8	0	-25	0	14	-1	-15
		34	-34	-13	-19	-32	-54	-48	-56	-56	-81	-81	-67	-68	-83
葛巻町	50	50	49	39	45	32	32	43	28	36	32	36	41	36	31
		0	-1	-10	6	-13	0	11	-15	8	-4	4	5	-5	-5
		0	-1	-11	-5	-18	-18	-7	-22	-14	-18	-14	-9	-14	-19
岩手町	141	112	119	124	127	109	117	102	104	95	83	77	77	73	70
		-29	7	5	3	-18	8	-15	2	-9	-12	-6	0	-4	-3
		-29	-22	-17	-14	-32	-24	-39	-37	-46	-58	-64	-64	-68	-71

卒業生 現中3 中2 中1 小6 小5 小4 小3 小2 小1 5才・4才 4才・3才 3才・2才 2才・1才 1才・0才



#### 2 公立高等学校募集学級数の推移(全日制課程の推計値)

( )内は、対H26年度比

ブロック	学校名	設置学科	平成26年度学級数	ブロック内学級数			
				H26	H29	H33	H38
盛岡	盛岡第一	普・理	7	84	81 (▲3)	70 (▲14)	68 (▲16)
	盛岡第二	普	5				
	盛岡第三	普	7				
	盛岡第四	普	7				
	盛岡北	普	6				
	盛岡南	普・体	6				
	不来方	普	7				
	盛岡農	普農	5				
	盛岡工	工	7				
	盛岡商	商	6				
	沼宮内	普	2				
	葛巻	普	2				
	平舘	普・家	3				
	雫石	普	2				
	紫波総合	総	5				
盛岡市立	普・商	7					

※ は普通科系

※ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

### 3 合格者数・総受検者数(H26年度)

#### 【全日制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数
盛岡一	普通・理数	280	283	3	316
盛岡二	普通	200	204	4	254
盛岡三	普通	280	285	5	430
盛岡四	普通	280	282	2	387
盛岡北	普通	240	241	1	280
盛岡南	普通	160	161	1	198
	体育コース	40	41	1	61
	体育	40	40	0	44
不 来 方	人文・理数	160	164	4	248
	芸術	40	40	0	67
	外国語	40	40	0	73
	体育	40	40	0	54
盛岡農	植物科学	40	40	0	37
	動物科学	40	42	2	65
	食品科学	40	40	0	44
	人間科学	40	42	2	45
	環境科学	40	40	0	39
盛岡工	機械	40	40	0	45
	電気	40	40	0	37
	電子情報	40	40	0	50
	電子機械	40	40	0	42
	工業化学	40	40	0	30
	土木	40	41	1	52
	建築・デザイン	40	40	0	49
盛岡商	流通ビジネス	80	81	1	149
	会計ビジネス	80	80	0	121
	情報ビジネス	80	80	0	90
沼宮内	普通	80	54	▲ 26	56
葛 巻	普通	80	38	▲ 42	38
平 舘	普通	80	66	▲ 14	66
	家政科学	40	18	▲ 22	18
雫 石	普通	80	52	▲ 28	53
紫波総合	総合	200	200	0	203
盛岡市立	特別進学コース	35	37	2	51
	普通	160	164	4	200
	商業	80	80	0	87
合 計		3,355	3,256	▲ 99	4,079

#### 【定時制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数	
杜 陵	普通	1・2部	120	47	▲ 73	60
		3部	40	4	▲ 36	4
盛岡工	工業		40	2	▲ 38	2
合 計		200	53	▲ 147	66	

#### 【参考】

#### 盛岡ブロックの私立高校の募集定員(H26)

学 校	学 科	定 員
岩手	普通	200
岩手女子	普通	120
	看護	60
	福祉教養	40
盛岡白百合	普通	240
江南義塾盛岡	普通	45
	情報処理	45
盛岡大学附属	普通	150
盛岡スコーレ	総合	200
盛岡中央	普通	240
盛岡誠桜	普通	225
	商業	
	家政	
	食物調理	
合 計		1,565

#### 県立高等学校新整備計画期間中の再編状況

年 度	内 容
H16	紫波高校(6学級)を改編し、総合学科校の紫波総合高校(6学級)とする。

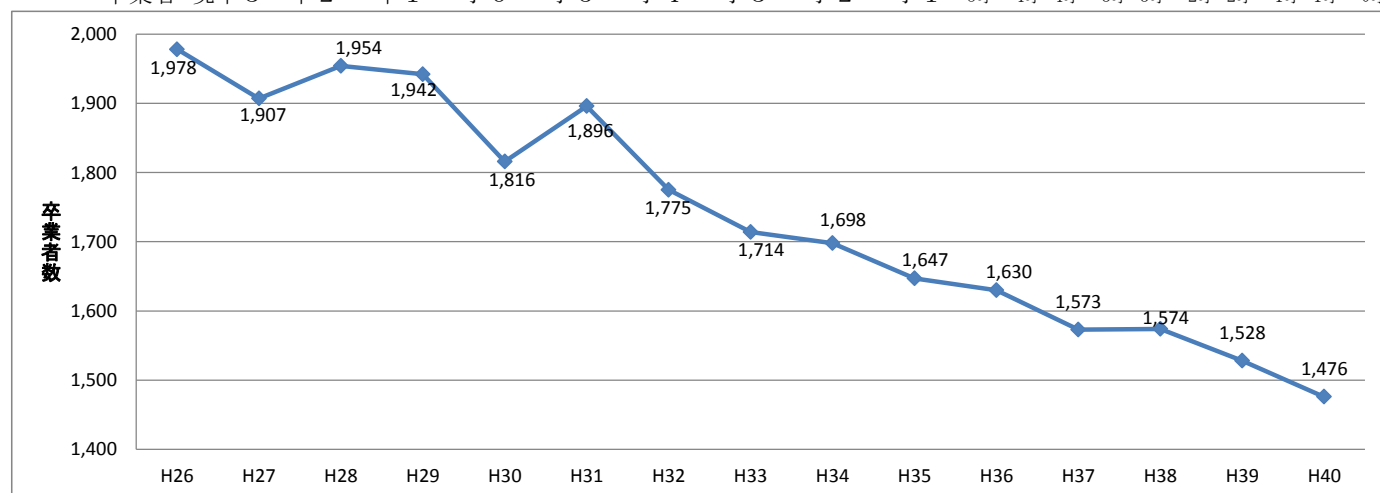
(1) ブロック別の現状について(つづき)

[岩手中部ブロック]

1 平成26年3月～40年3月 中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
岩手中部	1,978	1,907	1,954	1,942	1,816	1,896	1,775	1,714	1,698	1,647	1,630	1,573	1,574	1,528	1,476
ブロック計		-71	47	-12	-126	80	-121	-61	-16	-51	-17	-57	1	-46	-52
花巻市	985	922	960	908	892	901	867	823	786	742	750	702	730	701	656
		-63	38	-52	-16	9	-34	-44	-37	-44	8	-48	28	-29	-45
		-63	-25	-77	-93	-84	-118	-162	-199	-243	-235	-283	-255	-284	-329
北上市	939	944	949	995	884	969	868	854	874	877	854	840	816	802	792
		5	5	46	-111	85	-101	-14	20	3	-23	-14	-24	-14	-10
		5	10	56	-55	30	-71	-85	-65	-62	-85	-99	-123	-137	-147
西和賀町	54	41	45	39	40	26	40	37	38	28	26	31	28	25	28
		-13	4	-6	1	-14	14	-3	1	-10	-2	5	-3	-3	3
		-13	-9	-15	-14	-28	-14	-17	-16	-26	-28	-23	-26	-29	-26

卒業生 現中 3 中2 中1 小6 小5 小4 小3 小2 小1 5才・4才 4才・3才 3才・2才 2才・1才 1才・0才



2 公立高等学校募集学級数の推移(全日制課程の推計値)

ブロック	学校名	設置学科	平成26年度学級数	ブロック内学級数			
				H26	H29	H33	H38
岩手中部	花巻北	普	6	39	38 (▲1)	33 (▲6)	31 (▲8)
	花巻南	普	5				
	花巻農	農	3				
	花北青雲	工・商・家	4				
	大迫	普	1				
	黒沢尻北	普	6				
	北上翔南	総	6				
	黒沢尻工	工	6				
	西和賀	普	2				

※ は普通科系  
 ※ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

### 3 合格者数・総受検者数(H26年度)

#### 【全日制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数
花 卷 北	普通	240	241	1	244
花 卷 南	人文科学・自然科学	120	121	1	131
	スポーツ健康科学	40	41	1	43
	国際科学	40	38	▲ 2	37
花 卷 農	生物科学	40	42	2	43
	環境科学	40	40		42
	食農科学	40	42	2	43
花北青雲	情報工学	40	41	1	44
	ビジネス情報	80	84	4	108
	総合生活	40	42	2	54
大 迫	普通	40	23	▲ 17	27
黒沢尻北	普通	240	240		264
北上翔南	総合	240	229	▲ 11	229
黒沢尻工	機械	40	40		49
	電気	40	31	▲ 9	32
	電子	40	37	▲ 3	30
	電子機械	40	40		43
	土木	40	40		41
	材料技術	40	40		55
西 和 賀	普通	40	29	▲ 11	31
	福祉・情報コース	40	21	▲ 19	22
合 計		1,560	1,502	▲ 58	1,612

#### [参考]

#### 岩手中部ブロックの私立高校の募集定員(H26)

学校	学科	定員
花巻東	普通	240
専修大学北上	普通	230
	商業	120
	自動車	40
合計		630

#### 県立高等学校新整備計画期間中の再編状況

年 度	内 容
H14	花巻南高校（6学級）を改編し、総合選択制高校とする。
H15	花北商業高校（3学級）を総合的な専門高校に改編し、花北青雲高校（4学級）とする。
H15	花巻農業高校（5学級）と、北上農業高校（2学級）を統合し、花巻農業高校（3学級）とする。
H16	黒沢尻南高校（5学級）を改編し、総合学科校の北上翔南高校（6学級）とする。
H20	花巻北高校（7学級）を東和高校（2学級）と統合し、花巻北高校（7学級）とする。

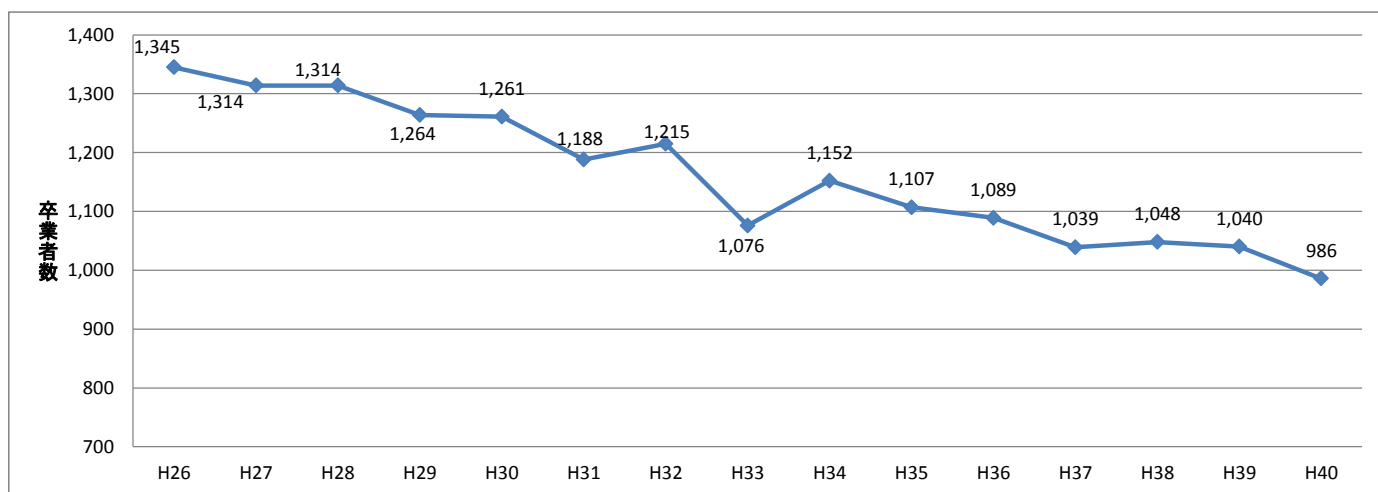
(1) ブロック別の現状について(つづき)

[胆江ブロック]

1 平成26年3月～40年3月 中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
胆江	1,345	1,314	1,314	1,264	1,261	1,188	1,215	1,076	1,152	1,107	1,089	1,039	1,048	1,040	986
ブロック計		-31	0	-50	-3	-73	27	-139	76	-45	-18	-50	9	-8	-54
奥州市	1,187	1,176	1,159	1,105	1,105	1,036	1,059	933	1,014	965	957	907	921	912	861
		-11	-17	-54	0	-69	23	-126	81	-49	-8	-50	14	-9	-51
		-11	-28	-82	-82	-151	-128	-254	-173	-222	-230	-280	-266	-275	-326
金ヶ崎町	158	138	155	159	156	152	156	143	138	142	132	132	127	128	125
		-20	17	4	-3	-4	4	-13	-5	4	-10	0	-5	1	-3
		-20	-3	1	-2	-6	-2	-15	-20	-16	-26	-26	-31	-30	-33

卒業者 現中3 中2 中1 小6 小5 小4 小3 小2 小1 5才・4才 4才・3才 3才・2才 2才・1才 1才・0才



2 公立高等学校募集学級数の推移(全日制課程の推計値)

ブロック	学校名	設置学科	平成26年度学級数	ブロック内学級数			
				H26	H29	H33	H38
胆江	水沢	普・理	6	26	24 (▲2)	20 (▲6)	20 (▲6)
	水沢農	農	3				
	水沢工	工	4				
	水沢商	商	3				
	前沢	普	2				
	金ヶ崎	普	3				
	岩谷堂	総	5				

( )内は、対H26度比

【学科の割合】  
 普通科系 42.3%  
 専門学科 38.5%  
 総合学科 19.2%

※ は普通科系  
 ※ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

### 3 合格者数・総受検者数(H26年度)

#### 【全日制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総受 検者 数
水 沢	普通・理数	240	246	6	268
水 沢 農	農業科学	40	37	▲ 3	40
	環境工学	40	30	▲ 10	31
	生活科学	40	31	▲ 9	31
水 沢 工	機械	40	40		48
	電気	40	40		38
	設備システム	40	40		43
	インテリア	40	40		44
水 沢 商	商業	40	41	1	55
	会計ビジネス	40	41	1	48
	情報システム	40	41	1	46
前 沢	普通	80	59	▲ 21	61
金ヶ崎	普通	120	120		137
岩谷堂	総合	200	183	▲ 17	185
合 計		1,040	989	▲ 51	1,075

#### 【定時制】

学 校	学 科	定 員		合格者数	定員に 対する 過不足	総受 検者 数	
杜 陵 奥 州 校	普通	前 期	昼間部	40	32	▲ 8	35
			夜間部	40	6	▲ 34	5

#### [参考]

#### 胆江ブロックの私立高校の募集定員(H26)

学校	学科	定員
協和学院 水沢第一	普通	105
	調理	35
合計		140

#### 県立高等学校新整備計画期間中の再編状況

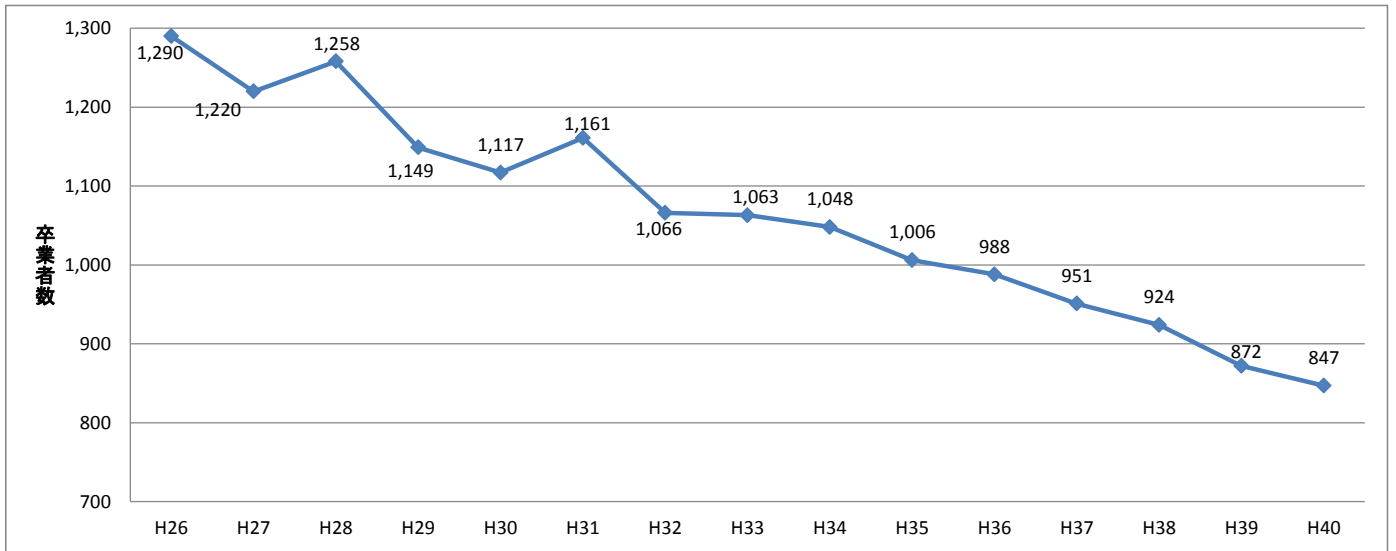
年 度	内 容
H20	水沢高校（7学級）と、胆沢高校（1学級）を統合し、水沢高校（7学級）とする。
H21	岩谷堂高校（5学級）と、岩谷堂農林高校（2学級）を統合し、岩谷堂高校（6学級）とする。
H21	杜陵高校奥州校（2学級）を、多部制・単位制高校とする。

(1) ブロック別の現状について(つづき)

[両磐ブロック]

1 平成26年3月～40年3月 中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
両 磐	1,290	1,220	1,258	1,149	1,117	1,161	1,066	1,063	1,048	1,006	988	951	924	872	847
ブロック計		-70	38	-109	-32	44	-95	-3	-15	-42	-18	-37	-27	-52	-25
一関市	1,221	1,148	1,189	1,088	1,059	1098	992	995	984	946	926	895	876	827	795
		-73	41	-101	-29	39	-106	3	-11	-38	-20	-31	-19	-49	-32
		-73	-32	-133	-162	-123	-229	-226	-237	-275	-295	-326	-345	-394	-426
平泉町	69	72	69	61	58	63	74	68	64	60	62	56	48	45	52
		3	-3	-8	-3	5	11	-6	-4	-4	2	-6	-8	-3	7
		3	0	-8	-11	-6	5	-1	-5	-9	-7	-13	-21	-24	-17
卒業者	現中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才	



2 公立高等学校募集学級数の推移(全日制課程の推計値)

ブロック	学校名	設置学科	平成26年度学級数	( )内は、対H26度比			
				ブロック内学級数			
				H26	H29	H33	H38
両磐	一関第一	普・理	6				
	一関第二	総	6				
	一関工	工	4				
	花泉	普	2				
	大東	普・商	4				
	千厩	普・農・工	5				
				27	23 (▲4)	21 (▲6)	19 (▲8)
【学科の割合】							
普通科系				51.9%			
専門学科				25.9%			
総合学科				22.2%			

※ は普通科系  
 ※ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

### 3 合格者数・総受検者数(H26年度)

#### 【全日制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数
一 関 一	普通・理数	240	241	1	179
一 関 二	総合	240	241	1	276
一 関 工 業	電気	40	38	▲ 2	35
	電子	40	38	▲ 2	37
	電子機械	40	40		50
	土木	40	40		51
花 泉	普通	80	30	▲ 50	30
大 東	普通	120	115	▲ 5	115
	情報ビジネス	40	28	▲ 12	30
千 厩	普通	120	118	▲ 2	117
	生産技術	40	42	2	44
	産業技術	40	37	▲ 3	37
合 計		1,080	1,008	▲ 72	1,001

#### 【定時制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数
一 関 一	普通	40	3	▲ 37	3

#### [参考]

#### 両磐ブロックの私立高校の募集定員(H26)

学校	学科	定員
一関学院	普通	280
一関修紅	普通	200
	生活教養	40
合 計		520

#### 国立高等専門学校の募集定員(H26)

学校	学科	定員
一関高専	機械工学、電気情報工学、制御情報工学、物質化学工学	160

#### 県立高等学校新整備計画期間及び現在までの再編状況

年度	内 容
H14	千厩高校（4学級）と、千厩東高校（3学級）を統合し、千厩高校（7学級）を普通科・専門学科併置校とする。
H16	一関第二高校（5学級）と、一関農業高校（2学級）を統合し、一関第二高校（6学級）を総合学科校とする。
H18	大東高校（4学級）と、大原商業高校（2学級）を統合し、大東高校（5学級）を普通科・専門学科併置校とする。
H18	千厩高校（6学級）と、藤沢高校（2学級）を統合し、千厩高校（6学級）を普通科・専門学科併置校とする。
H21	一関第一高校（6学級）に一関第一高校附属中学校（2学級）を設置し、併設型中高一貫教育校とする。



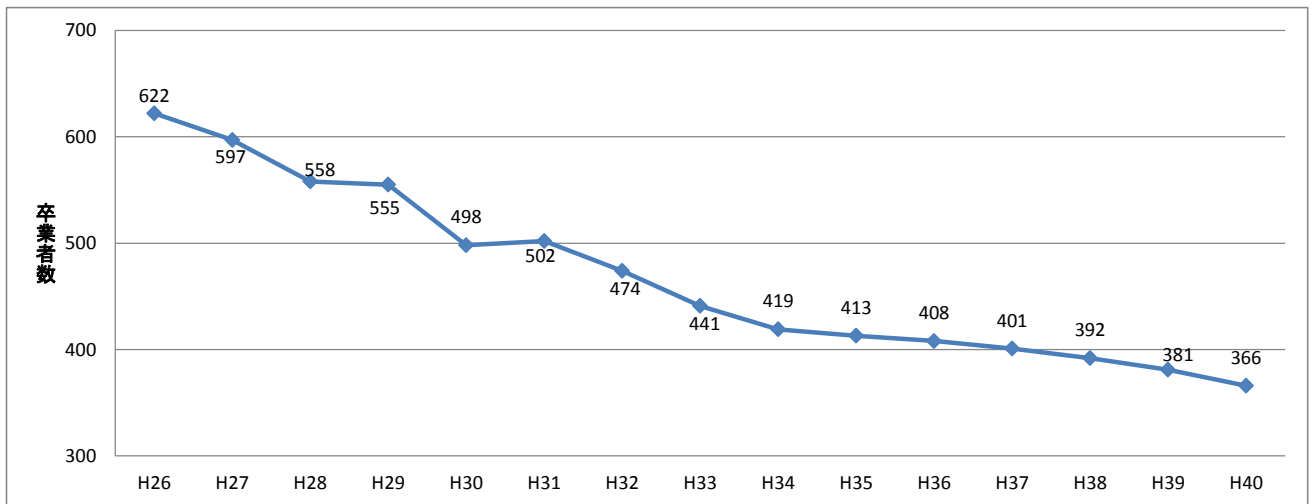
(1) ブロック別の現状について(つづき)

[気仙ブロック]

1 平成26年3月～40年3月 中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
気仙	622	597	558	555	498	502	474	441	419	413	408	401	392	381	366
ブロック計		-25	-39	-3	-57	4	-28	-33	-22	-6	-5	-7	-9	-11	-15
大船渡市	388	375	317	337	290	291	289	255	269	255	243	254	260	262	247
		-13	-58	20	-47	1	-2	-34	14	-14	-12	11	6	2	-15
		-13	-71	-51	-98	-97	-99	-133	-119	-133	-145	-134	-128	-126	-141
陸前高田市	177	188	193	182	167	174	148	138	125	123	127	112	99	93	95
		11	5	-11	-15	7	-26	-10	-13	-2	4	-15	-13	-6	2
		11	16	5	-10	-3	-29	-39	-52	-54	-50	-65	-78	-84	-82
住田町	57	34	48	36	41	37	37	48	25	35	38	35	33	26	24
		-23	14	-12	5	-4	0	11	-23	10	3	-3	-2	-7	-2
		-23	-9	-21	-16	-20	-20	-9	-32	-22	-19	-22	-24	-31	-33

卒業者 現中3 中2 中1 小6 小5 小4 小3 小2 小1 5才・4才 4才・3才 3才・2才 2才・1才 1才・0才



2 公立高等学校募集学級数の推移(全日制課程の推計値)

( )内は、対H26度比

ブロック	学校名	設置学科	平成26年度学級数	ブロック内学級数			
				H26	H29	H33	H38
気仙	高田	普・水	5	16	13 (▲3)	10 (▲6)	9 (▲7)
	大船渡	普	5				
	大船渡東	農・工・商・家	5				
	住田	普	1				

※ は普通科系  
 ※ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。  
 ※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。  
 ※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。  
 ※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

### 3 合格者数・総受検者数(H26年度)

#### 【全日制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数
高 田	普通	160	147	▲ 13	149
	海洋システム	40	16	▲ 24	16
大 船 渡	普通	200	185	▲ 15	186
大船渡東	農芸科学	40	29	▲ 11	32
	機械	40	33	▲ 7	33
	電気電子	40	30	▲ 10	31
	情報処理	40	24	▲ 16	24
	食物文化	40	35	▲ 5	36
住 田	普通	40	39	▲ 1	40
合 計		640	538	▲ 102	547

#### 【定時制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数
大 船 渡	普通	40	4	▲ 36	5

#### [参考]

#### 県立高等学校新整備計画期間中の再編状況

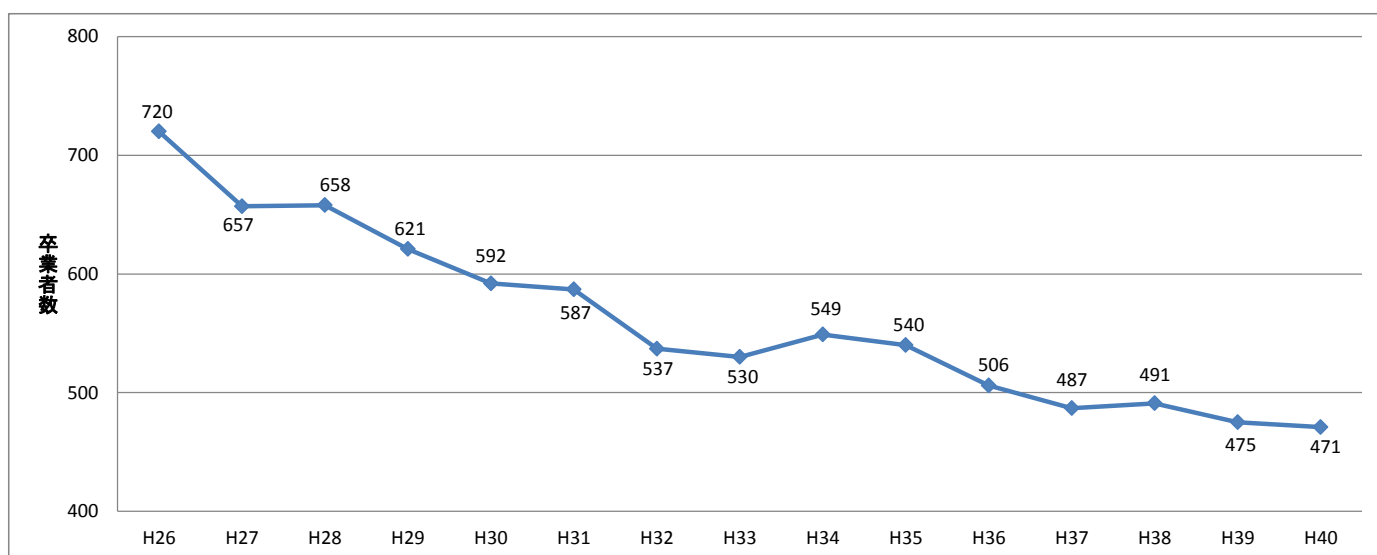
年 度	内 容
H20	高田高校（普通3学級）と広田水産高校（水産1学級）を統合し、高田高校（5学級）を普通科・専門学科併置校とする。
H20	大船渡農業高校（2学級）、大船渡工業高校（3学級）、高田高校（情報1学級）、広田水産高校（家政1学級）を統合し、大船渡東高校（5学級）を総合的な専門高校とする。

(1) ブロック別の現状について(つづき)

[釜石・遠野ブロック]

1 平成26年3月～40年3月 中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
釜石・遠野	720	657	658	621	592	587	537	530	549	540	506	487	491	475	471
ブロック計		-63	1	-37	-29	-5	-50	-7	19	-9	-34	-19	4	-16	-4
遠野市	246	252	221	233	229	229	217	196	246	193	191	189	188	185	186
		6	-31	12	-4	0	-12	-21	50	-53	-2	-2	-1	-3	1
		6	-25	-13	-17	-17	-29	-50	0	-53	-55	-57	-58	-61	-60
釜石市	337	296	330	278	262	276	243	254	221	262	241	231	231	222	215
		-41	34	-52	-16	14	-33	11	-33	41	-21	-10	0	-9	-7
		-41	-7	-59	-75	-61	-94	-83	-116	-75	-96	-106	-106	-115	-122
大槌町	137	109	107	110	101	82	78	80	82	85	74	67	72	68	70
		-28	-2	3	-9	-19	-4	2	2	3	-11	-7	5	-4	2
		-28	-30	-27	-36	-55	-59	-57	-55	-52	-63	-70	-65	-69	-67
	卒業者	現中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才



2 公立高等学校募集学級数の推移(全日制課程の推計値)

ブロック	学校名	設置学科	平成26年度学級数	( )内は、対H26度比 ブロック内学級数			
				H26	H29	H33	H38
釜石・遠野	釜石	普・理	5				
	釜石商工	商・工	5				
	遠野	普	4				
	遠野緑峰	農・商	2				
	大槌	普	3				
				19	14 (▲5)	12 (▲7)	11 (▲8)
				[学科の割合] 普通科系 63.2% 専門学科 36.8% 総合学科 0.0%			

※ は普通科系  
 ※ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

### 3 合格者数・総受検者数(H26年度)

#### 【全日制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数
釜 石	普通・理数	200	187	▲ 13	187
釜石商工	機械・電子機械	80	65	▲ 15	69
	電気電子	40	20	▲ 20	22
	総合情報	80	53	▲ 27	53
遠 野	普通	160	151	▲ 9	151
遠野緑峰	生産技術	40	36	▲ 4	36
	情報処理	40	19	▲ 21	19
大 槌	普通	120	85	▲ 35	86
合 計		760	616	▲ 144	623

#### 【定時制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数
釜 石	普通	40	7	▲ 33	9

#### [参考]

#### 県立高等学校新整備計画期間中の再編状況

年 度	内 容
H20	釜石南高校（5学級）と釜石北高校（2学級）を統合し、釜石高校（6学級）とする。
H20	遠野高校（4学級）、遠野情報ビジネス校（1学級）を統合し、遠野高校（5学級）とする。
H20	釜石工業高校（3学級）と釜石商業高校（2学級）を統合し、釜石商工高校（5学級）を総合的な専門高校とする。

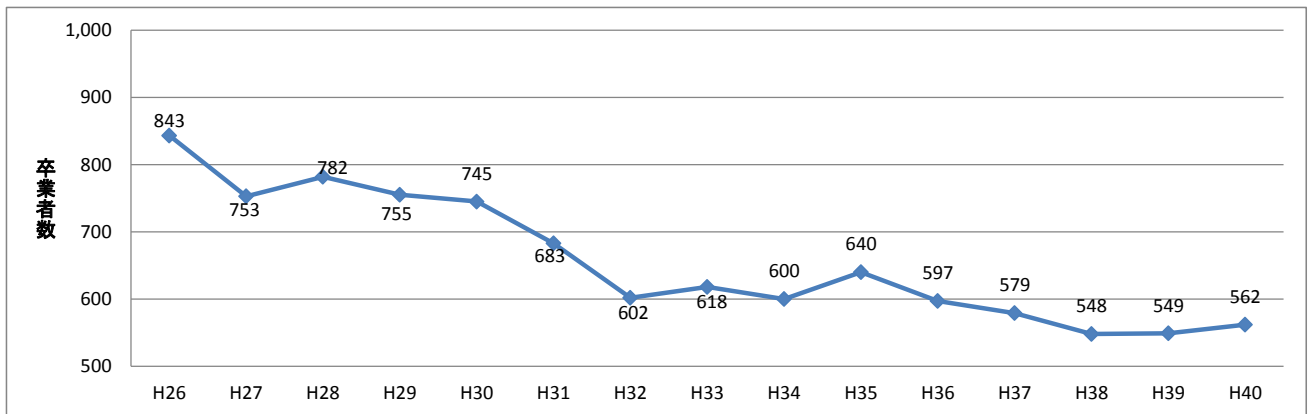
(1) ブロック別の現状について(つづき)

[宮古ブロック]

1 平成26年3月～40年3月 中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
宮古	843	753	782	755	745	683	602	618	600	640	597	579	548	549	562
ブロック計		-90	29	-27	-10	-62	-81	16	-18	40	-43	-18	-31	1	13
宮古市	542	491	520	481	478	449	405	408	418	431	411	393	363	372	377
		-51	29	-39	-3	-29	-44	3	10	13	-20	-18	-30	9	5
		-51	-22	-61	-64	-93	-137	-134	-124	-111	-131	-149	-179	-170	-165
山田町	185	160	154	152	153	128	114	114	100	111	106	109	102	93	98
		-25	-6	-2	1	-25	-14	0	-14	11	-5	3	-7	-9	5
		-25	-31	-33	-32	-57	-71	-71	-85	-74	-79	-76	-83	-92	-87
岩泉町	72	71	79	82	88	82	57	73	57	71	53	54	57	59	62
		-1	8	3	6	-6	-25	16	-16	14	-18	1	3	2	3
		-1	7	10	16	10	-15	1	-15	-1	-19	-18	-15	-13	-10
田野畑村	44	31	29	40	26	24	26	23	25	27	27	23	26	25	25
		-13	-2	11	-14	-2	2	-3	2	2	0	-4	3	-1	0
		-13	-15	-4	-18	-20	-18	-21	-19	-17	-17	-21	-18	-19	-19

卒業者 現中3 中2 中1 小6 小5 小4 小3 小2 小1 5才・4才 4才・3才 3才・2才 2才・1才 1才・0才



2 公立高等学校募集学級数の推移(全日制課程の推計値)

ブロック	学校名	設置学科	平成26年度学級数	( )内は、対H26度比 ブロック内学級数			
				H26	H29	H33	H38
宮古	山田	普	2				
	宮古	普	6				
	宮古北	普	1				
	宮古工	工	3	21	16 (▲5)	14 (▲7)	12 (▲9)
	宮古商	商	4				
	宮古水	水・家	3				
	岩泉	普	2				

[学科の割合]  
普通科系 52.4%  
専門学科 47.6%  
総合学科 0.0%

※ は普通科系  
※ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。  
※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。  
※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。  
※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

### 3 合格者数・総受検者数(H26年度)

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総受 検者 数
山 田	普通	80	50	▲ 30	55
宮 古	普通	240	243	3	255
宮古北	普通	40	19	▲ 21	20
宮古工	機械	40	30	▲ 10	30
	電気電子	40	23	▲ 17	24
	建築設備	40	34	▲ 6	34
宮古商	商業	40	35	▲ 5	33
	会計	40	40	0	36
	流通経済	40	40	0	47
	情報	40	33	▲ 7	32
宮古水産	海洋技術	40	30	▲ 10	30
	食品家政	40	35	▲ 5	34
	食物	40	40	0	42
岩 泉	普通	80	42	▲ 38	42
合 計		840	694	▲ 146	714

#### 【定時制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総受 検者 数
宮 古	普通	40	7	▲ 33	8

#### [参考]

#### 県立高等学校新整備計画期間及び現在までの再編状況

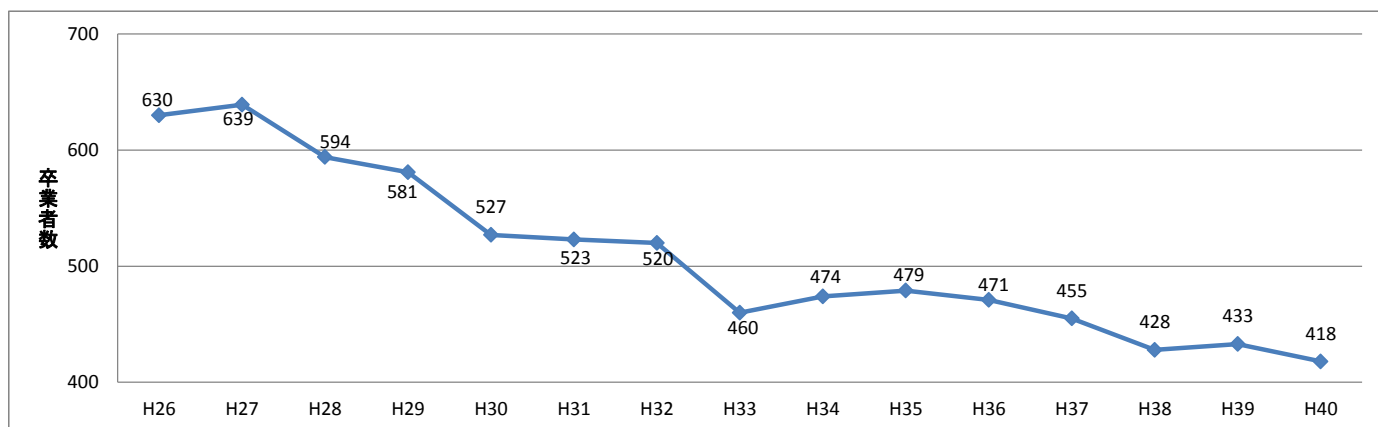
年 度	内 容
H15	岩泉高校（3学級）と岩泉高校小川校（1学級）を統合し、岩泉高校（3学級）とする。
H20	宮古高校（6学級）、宮古高校川井校（1学級）を統合し、宮古高校（6学級）とする。
H22	岩泉高校田野畑校（1学級）を募集停止とする。（H23年度末 閉校）

(1) ブロック別の現状について(つづき)

[久慈ブロック]

1 平成26年3月～40年3月 中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
久慈	630	639	594	581	527	523	520	460	474	479	471	455	428	433	418
ブロック計		9	-45	-13	-54	-4	-3	-60	14	5	-8	-16	-27	5	-15
		9	-36	-49	-103	-107	-110	-170	-156	-151	-159	-175	-202	-197	-212
久慈市	369	380	363	363	330	321	333	304	317	308	309	303	290	286	267
		11	-17	0	-33	-9	12	-29	13	-9	1	-6	-13	-4	-19
		11	-6	-6	-39	-48	-36	-65	-52	-61	-60	-66	-79	-83	-102
普代村	25	26	27	18	22	20	20	16	15	25	21	20	20	17	15
		1	1	-9	4	-2	0	-4	-1	10	-4	-1	0	-3	-2
		1	2	-7	-3	-5	-5	-9	-10	0	-4	-5	-5	-8	-10
洋野町	199	187	179	168	138	156	135	106	110	114	111	103	93	99	103
		-12	-8	-11	-30	18	-21	-29	4	4	-3	-8	-10	6	4
		-12	-20	-31	-61	-43	-64	-93	-89	-85	-88	-96	-106	-100	-96
野田村	37	46	25	32	37	26	32	34	32	32	30	29	25	31	33
		9	-21	7	5	-11	6	2	-2	0	-2	-1	-4	6	2
		9	-12	-5	0	-11	-5	-3	-5	-5	-7	-8	-12	-6	-4
	卒業者	現中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才



2 公立高等学校募集学級数の推移(全日制課程の推計値)

ブロック	学校名	設置学科	平成26年度学級数	ブロック内学級数			
				H26	H29	H33	H38
久慈	久慈	普	5				
	久慈東	総	5				
	久慈工	工	2				
	種市	普・工	3				
	大野	普	2				
				17	13 (▲4)	10 (▲7)	10 (▲7)

( )内は、対H26度比

[学科の割合]  
普通科系 52.9%  
専門学科 17.6%  
総合学科 29.4%

※ は普通科系  
 ※ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

### 3 合格者数・総受検者数(H26年度)

#### 【全日制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数
久 慈	普通	200	203	3	206
久 慈 東	総合	200	163	▲ 37	166
久 慈 工	電子機械	40	15	▲ 25	15
	建設環境	40	28	▲ 12	28
種 市	普通	80	58	▲ 22	60
	海洋開発	40	25	▲ 15	25
大 野	普通	80	56	▲ 24	56
合 計		680	548	▲ 132	556

#### 【定時制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数
久慈長内	普通 (昼間)	40	9	▲ 31	9
	普通 (夜間)	40	0	▲ 40	0
合 計		80	9	▲ 71	9

#### [参考]

#### 県立高等学校新整備計画期間中の再編状況

年 度	内 容
H16	久慈農林高校（3学級）、久慈商業高校（3学級）、久慈水産高校（2学級）を統合し、久慈東高校（6学級）を総合学科校とする。
H20	久慈高校（5学級）、久慈高校山形校（1学級）を統合し、久慈高校（5学級）とする。
H20	久慈高校長内校（1学級）を、多部制（2学級）とする。

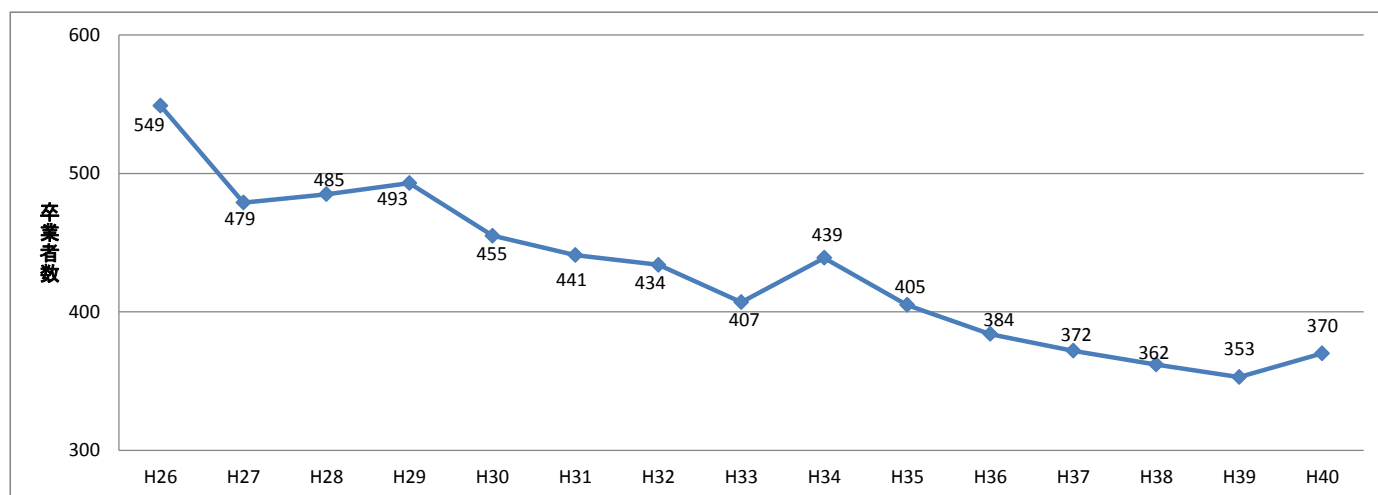


(1) ブロック別の現状について(つづき)

[二戸ブロック]

1 平成26年3月～40年3月 中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
二戸	549	479	485	493	455	441	434	407	439	405	384	372	362	353	370
ブロック計		-70	6	8	-38	-14	-7	-27	32	-34	-21	-12	-10	-9	17
		-70	-64	-56	-94	-108	-115	-142	-110	-144	-165	-177	-187	-196	-179
二戸市	285	237	264	253	254	229	235	202	237	209	205	190	183	187	206
		-48	27	-11	1	-25	6	-33	35	-28	-4	-15	-7	4	19
		-48	-21	-32	-31	-56	-50	-83	-48	-76	-80	-95	-102	-98	-79
軽米町	92	88	69	75	68	76	69	66	75	73	56	63	65	58	48
		-4	-19	6	-7	8	-7	-3	9	-2	-17	7	2	-7	-10
		-4	-23	-17	-24	-16	-23	-26	-17	-19	-36	-29	-27	-34	-44
九戸村	51	53	43	54	48	50	50	48	43	40	40	38	38	36	38
		2	-10	11	-6	2	0	-2	-5	-3	0	-2	0	-2	2
		2	-8	3	-3	-1	-1	-3	-8	-11	-13	-13	-13	-15	-13
一戸町	121	101	109	111	85	86	80	91	84	83	83	81	76	72	78
		-20	8	2	-26	1	-6	11	-7	-1	0	-2	-5	-4	6
		-20	-12	-10	-36	-35	-41	-30	-37	-38	-38	-40	-45	-49	-43
	卒業者	現中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才



2 公立高等学校募集学級数の推移(全日制課程の推計値)

( )内は、対H26度比

ブロック	学校名	設置学科	平成26年度学級数	ブロック内学級数			
				H26	H29	H33	H38
二戸	軽米	普	2	14 [学科の割合] 普通科系 64.3% 専門学科 14.3% 総合学科 21.4%	11 (▲3)	9 (▲5)	9 (▲5)
	伊保内	普	2				
	福岡	普	5				
	福岡工	工	2				
	一戸	総	3				

※ は普通科系  
 ※ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

### 3 合格者数・総受検者数(H26年度)

#### 【全日制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数
軽 米	普通	80	65	▲ 15	65
伊 保 内	普通	80	50	▲ 30	50
福 岡	普通	200	183	▲ 17	183
福岡高校 浄法寺校	普通	H26募集停止			
福 岡 工	機械システム	40	40	0	40
	電気情報システム	40	22	▲ 18	22
一 戸	総合	120	124	4	124
合 計		560	484	▲ 76	484

#### 【定時制】

学 校	学 科	定 員	合格者数	定員に 対する 過不足	総 受 検 者 数
福 岡	普通	40	3	▲ 37	3

#### [参考]

#### 県立高等学校新整備計画期間及び現在までの再編状況

年 度	内 容
H17	一戸高校（4学級）を改編し、総合学科校（4学級）とする。
H20	浄法寺高校（1学級）を分校化し、福岡高校浄法寺校（1学級）とする。
H26	福岡高校浄法寺校（1学級）を募集停止とする。（H27年度末 閉校予定）

## (2) ブロック別懇談会の実施概要、主な意見等

### ア 実施時期

平成26年8月6日(水)～9月4日(木)の間(実施日は下記の実施状況参照)

### イ 目的及び懇談テーマ

#### (ア) 目的

今後の県立高等学校教育の在り方について、県内各地域において各界の代表者等と意見交換を行い、県立高等学校教育の在り方検討委員会における検討の参考に資する。

#### (イ) 懇談テーマ

- a 県立高等学校の現状及び各ブロックの現状について
- b 「今後の高等学校教育の基本的方向」の見直しにおける論点について

### ウ 実施状況

ブロック名	ブロック内 市町村名	実施日	場 所	出席者数					
				地区 代表	県議会 議員	地区校 長等	検討 委員	傍聴者 (報道)	事務局
盛岡	盛岡市、八幡平市、 滝沢市、雫石町、葛 巻町、岩手町、紫波 町、矢巾町	8月27日(水)	岩手産業 文化センター	37	5	19	2	10	15
岩手 中部	花巻市、北上市、 西和賀町	8月20日(水)	花巻市民 文化会館	15	4	11	2	23	15
胆江	奥州市、金ヶ崎町	8月8日(金)	奥州市水沢 地区センター	10	3	9	2	7	13
両磐	一関市、平泉町	8月6日(水)	一関地区 合同庁舎	10	4	7	2	14	13
気仙	大船渡市、陸前高田市、 住田町	8月19日(火)	大船渡市役所	13	—	6	2	11	13
釜石・ 遠野	釜石市、大槌町、 遠野市	9月4日(木)	釜石地区 合同庁舎	13	3	7	2	4	12
宮古	宮古市、山田町、 岩泉町、田野畑村	8月11日(月)	宮古地区 合同庁舎	20	1	8	2	12	13
久慈	久慈市、洋野町、 野田村、普代村	8月25日(月)	久慈地区 合同庁舎	20	1	6	2	7	12
二戸	二戸市、一戸町、 軽米町、九戸村	9月3日(水)	二戸市民 文化会館	19	1	6	2	9	13
計				157	22	79	18	97	119
				492					

### エ 各ブロックの主な意見・提言(まとめ)

- (ア) 小規模校への配慮から、小規模校も一律の基準で統廃合せず、地域の状況を踏まえ存続も視野に検討すべき。高校は地域を担う人材育成や地域振興に重要な存在であり、小規模校も一律の基準で統廃合せず、地域の状況を踏まえ存続も視野に検討すべき。
- (イ) 地域産業との関わりから、少子化の中でも、生徒に選択されるような各校の特色を打ち出すため、高校と地域との連携を積極的に進めていくべき。
- (ウ) 通学の支援に関し、遠距離での通学を余儀なくされている生徒も多く、通学に対する経済的支援を実施してほしい。
- (エ) 1学級の定員に関し、学級定員は県内一律の基準ではなく、地域の実情に合わせ検討していくべきであり、地域によっては少人数学級等の設置についても検討が必要である。併せて、学級定員の見直しを国に働きかけてほしい。など、様々な意見が寄せられました。(次頁参照)

[各ブロックでの主な意見、提言等]

ブロック名	主な意見・提言等（項目のみ）
盛岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土を愛する心の育成 ・ 地域に根ざした教育 ・ 生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障 ・ 中高連携の重要性</li> <li>・ キャリア教育の充実のための地域、産業界との連携、人材活用 ・ 高校生の離職率を低下させるキャリア教育</li> <li>・ 新規就職者（若者）の社会への適応能力の育成 ・ 教員の資質の向上 ・ 特別な支援を必要とする生徒への対応</li> <li>・ 望ましい学校規模の考え方 ・ 地域性を考慮した高校の設置 ・ 40人以下学級の導入(1学級定員の見直し)</li> <li>・ 学区外入学枠の拡大(県外入学容認) ・ 通学支援の実施 ・ 地域の産業発展につながる専門高校(学科)の在り方</li> <li>・ 総合学科高校へ工業系列の設置 ・ 職業教育の充実と技術者の育成 ・ 地域の高等教育機関としての高校の在り方</li> </ul>
岩手中部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿岸部は震災の影響を考慮し慎重な検討を ・ 生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障</li> <li>・ 新規就職者（若者）の社会への適応能力の育成 ・ 特別な支援を必要とする生徒への対応 ・ 多様な生徒への対応</li> <li>・ 地域性を考慮した高校の設置(在り方) ・ 40人以下学級の導入(1学級定員の見直し) ・ 通学支援の実施</li> <li>・ まちづくりと関連した高校再編の在り方</li> </ul>
胆江	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業が求める人材育成 ・ 教員の資質能力の向上 ・ 生徒が通学可能な範囲に選択が可能となる数の高校配置</li> <li>・ 普通高校の特色化 ・ 魅力ある小規模校の在り方 ・ 地域性を考慮した高校の設置 ・ 通学支援の実施</li> <li>・ ものづくりを学ぶ環境の整備 ・ 総合学科高校の成果と課題の検証 ・ 中学生や高校生からの再編への意見聴取</li> <li>・ 教員が地域理解を深めるための研修の実施 ・ 再編に向けた丁寧な説明による地域との合意形成</li> </ul>
両磐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復興を担う人材育成 ・ 生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障 ・ 小中学校との連携強化</li> <li>・ キャリア教育の充実のための地域、産業界との連携(地域の人材活用) ・ 教員の地域理解</li> <li>・ 新規就職者（若者）の社会への適応能力の育成 ・ 特別な支援を必要とする生徒への対応 ・ 魅力ある学校づくり</li> <li>・ 40人以下学級の導入(1学級定員の見直し) ・ 学区の見直し(拡大) ・ 地域産業と関連した学校教育の在り方</li> <li>・ 総合学科高校の十分な検証 ・ 国際的に活躍できる人材を育成する学校の設置 ・ 継続性のある学校経営の展開</li> </ul>
気仙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に貢献し、地域を担う人材育成 ・ 教育の質の維持 ・ 教員の授業派遣等による中高連携の強化</li> <li>・ キャリア教育の充実のための地域、産業界との連携(キャリア教育に地域人材活用)</li> <li>・ 自治体と連携した魅力ある学校づくり(特に小規模校) ・ 学科等のバランスのとれた高校配置</li> <li>・ 地域性を考慮した高校の設置(在り方) ・ 40人以下学級の導入(1学級定員の見直し) ・ 通学支援の実施</li> <li>・ 10年先を見据えた専門学科の在り方検討 ・ 復興に対応する専門教育の充実 ・ 中高一貫教育校の拡大</li> </ul>
釜石・遠野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の地域貢献意識の向上 ・ 生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障</li> <li>・ キャリア教育の充実のための地域、産業界との連携 ・ 特別な支援を必要とする生徒への対応</li> <li>・ 中途退学者への対応 ・ 高校集約による拠点化と説得力のあるビジョン提示</li> <li>・ 40人以下学級の導入(1学級定員の見直し) ・ 多様な学科(水産、外国語)の設置 ・ 工業系専攻科の設置</li> <li>・ 中高一貫校で育成する人材を明確に ・ 内陸と沿岸の学習機会の格差の是正 ・ 教育内容の充実</li> </ul>
宮古	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に貢献し、地域を担う人材育成 ・ 生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障</li> <li>・ キャリア教育の充実のための地域、産業界との連携 ・ 高校生の離職率の低下に向けたキャリア教育の充実</li> <li>・ 特別な支援を必要とする生徒への対応 ・ 現状の高校の維持 ・ 地域性を考慮した高校の設置(在り方)</li> <li>・ 自治体と連携した魅力ある学校づくり(特に小規模校) ・ 学区の拡大 ・ 40人以下学級の導入(1学級定員の見直し)</li> <li>・ 通学支援の実施 ・ 農業、福祉系の学科配置の検討 ・ 教育環境の整備 ・ 内陸部と沿岸県北の教育の機会均等</li> </ul>
久慈	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に貢献し、地域を担う人材育成 ・ 生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障</li> <li>・ 新規就職者（若者）の社会への適応能力の育成 ・ 専門高校から高等教育機関への進学ルート確保</li> <li>・ 教員の資質能力の向上と適正配置 ・ 地域性を考慮した高校の設置(在り方)</li> <li>・ 自治体と連携した魅力ある学校づくり(特に小規模校) ・ 40人以下学級の導入(1学級定員の見直し)</li> <li>・ 県外入学の容認 ・ 通学や下宿経費への支援 ・ 特色ある学科(林業、水産、福祉、外国語)の設置</li> </ul>
二戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に貢献し、地域を担う人材育成 ・ 生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障</li> <li>・ 特別支援学校高等部の設置 ・ 自治体と連携した魅力ある学校づくり(特に小規模校)</li> <li>・ 地域の拠点校の充実 ・ 現状の高校の維持 ・ 望ましい学校規模の考え方の見直し ・ ICTの活用</li> <li>・ 40人以下学級の導入(1学級定員の見直し) ・ 学区の見直し(隣接協定の変更) ・ 通学支援の実施</li> <li>・ 多様な学科の配置 ・ 総合学科高校の学校規模の維持 ・ 食品関連学科の設置 ・ 中高一貫教育校の充実</li> </ul>